

きになる ⇄ ひょうげん

2020

第4回 福島県障がい者
芸術作品展

2020

11

21



2021

1

17



はじまりの美術館

福島県耶麻郡猪苗代町新町4873

kiminaru-hyogen.info



主催：福島県

観覧料 / 無料

きになる⇔ひょうげん2020

第4回 福島県障がい者芸術作品展

はじまりの美術館

福島県耶麻郡猪苗代町新町4873

2020 11/21(土) → 2021 1/17(日)

10:00-18:00 (火曜、12/29~1/5休館)

11/21(土)、12/19(土)、1/16(土)は16時閉館

このたび福島県は、第4回福島県障がい者芸術作品展「きになる⇔ひょうげん2020」を開催いたします。本展では「きになる」をひとつの基準に、福島県内から作品を募集しました。「きになる」と「ひょうげん」のあいだにある「⇔」は、作る人、支える人、見つける人など、さまざまな関係性を表しています。過去3回の開催を通して、「形にならない表現行為」による応募も見られ、少しずつ「きになる」視点が広がっているようにも感じます。障がいのあるなしにかかわらず、私たちはなにかきになった物事にこだわる必要があります。そんなこだわりから生まれる表現は、見る人にも何かを感じさせる力があると思います。

この作品展に来ていただいた皆さまにも、「どうしてこの表現が生まれたんだろう」「作者は何が気になったんだろう」「とにかくなんだか気になる」など、きになる表現を見つけていただければ幸いです。そして本展を通して、作者のこころや目の前にある表現にきになることが、「障がい」について考え、理解や考えを深める場になることを願います。

本事業に関するお問い合わせ

社会福祉法人 安積愛育園 はじまりの美術館
〒969-3122 福島県耶麻郡猪苗代町新町4873

TEL & FAX: 0242-62-3454

E-mail: otoiawase@hajimari-ac.com

kininaru-hyogen.info

イベント

11/21(土)

14:30-15:00 ギャラリートーク

17:00-19:00【オンライン開催】オープニングトークイベント「表現のまわりに目を向ける」

ゲスト：坂野健一郎(新潟県アール・ブリュット・サポート・センター NASC)

武田和恵(やまがたアートサポートセンターら・ら・ら)

進行：小林竜也(はじまりの美術館)

新潟県、山形県、福島県の3県は連携して障がいのある方の芸術活動の推進を行なっています。各県それぞれ視点の異なる公募展を開催しており、それぞれの話から障がいのある方の表現について考えていきたいと思います。

12/19(土)

17:00-19:00【オンライン開催】トークイベント「きになるものの伝え方、届け方」

ゲスト：高木市之助(デザイナー)

佐藤洋美(本展デザイナー)

進行：小林竜也(はじまりの美術館)

いわき市地域包括ケア推進課による社会包摂に関わる様々なプロジェクトのデザインを行う「igoku」。そのアートディレクターである高木市之助さんと、第1回から本作品展のグラフィックデザインを担当する佐藤洋美さんをお招きし、伝え、届けるためのデザインの役割についてお話しできます。

1/16(土)

17:00-19:00【オンライン開催】審査員トークイベント

登壇者：日比野克彦、川延安直、川内有緒

進行：岡部兼芳

審査員4名の方々に今回の応募作品のエピソードや受賞作品、各審査員賞の作品について、どこがきになったのかなど審査講評を交えてお話しできます。

1/17(日)

11:00-12:00 表彰式、受賞者トーク

表彰式および受賞者のみなさまから作品についてお話を伺います。

オーディエンス賞について

今回もご来場いただいた方の投票でオーディエンス賞が決まります。会場に投票のための「きになる木」を設置しますので、あなたがきになった作品を葉っぱに書いて投票してください！

※会期終了後、商店等の方にお店に飾りたい作品を選んでいただき展示をおこなう「まちなか美術館」に関連した取り組みを実施予定です。

審査員

日比野 克彦

ひびの かつひこ



美術家・東京藝術大学美術学部長

1958年岐阜県生まれ。東京藝術大学大学院修了。大学在学中にダンボール作品で注目を浴び、国内外で個展・グループ展を多数開催する他、パブリックアート・舞台美術など、多岐にわたる分野で活動中。近年はオリンピックパラリンピック東京大会に向けたリーディングプロジェクト「TURN」の監修者を務める。

川延 安直

かわのべ やすなお



福島県立博物館 副館長(兼)学芸課長

1961年神奈川県生まれ。筑波大学大学院芸術学修士修了。岡山県立美術館を経て、現在福島県立博物館副館長(兼)学芸課長。「福島芸術計画×ART SUPPORT TOHOKU-TOKYO」や「ライフミュージアムネットワーク」など、福島県内のさまざまな文化発信活動に携わっている。

岡部 兼芳

おかべ たかよし



社会福祉法人安積愛育園 はじまりの美術館館長

1974年福島県生まれ。共同作業所支援員、中学校教員を経て、2003年社会福祉法人安積愛育園入社。障害者支援施設にて生活支援員として働く中で、知的に障害のある利用者の表現活動をサポートする「unico(ウーニコ)」に携わる。2014年6月より現職。

ゲスト審査員

川内 有緒

かわうち ありお



ノンフィクション作家

生まれ変わったら冒険家になりたいと願うノンフィクション作家。アメリカ、フランス、日本を転々としながら12年間国際協力分野で働いた後に、フリーランスの物書きに。東京を拠点に評伝、旅行記、エッセイなどを執筆し、著作に『バリでメシを食う。』『空をゆく巨人』ほか。